

労災情報たかやま (H30.4月号)

高山労働基準監督署
(安全衛生課)

平成29年労働災害発生状況が確定しました！

主要産業の死傷者数

注1)カッコ内は死亡者数
注2)死傷者数は休業4日以上のもの

	H29		H28		対前年比 増減数		対前年比 死傷者数 増減率
	(死亡者数)	死傷者数	(死亡者数)	死傷者数	増減数	増減率	
全産業	(4)	177	(2)	154	(2)	23	14.9%
製造業	(1)	39		42	(1)	-3	-7.1%
建設業	(1)	33	(2)	23	(-1)	10	43.5%
運送業		13		10		3	30.0%
林業	(1)	15		17	(1)	-2	-11.8%
その他	(1)	77		62	(1)	15	24.2%

コメント

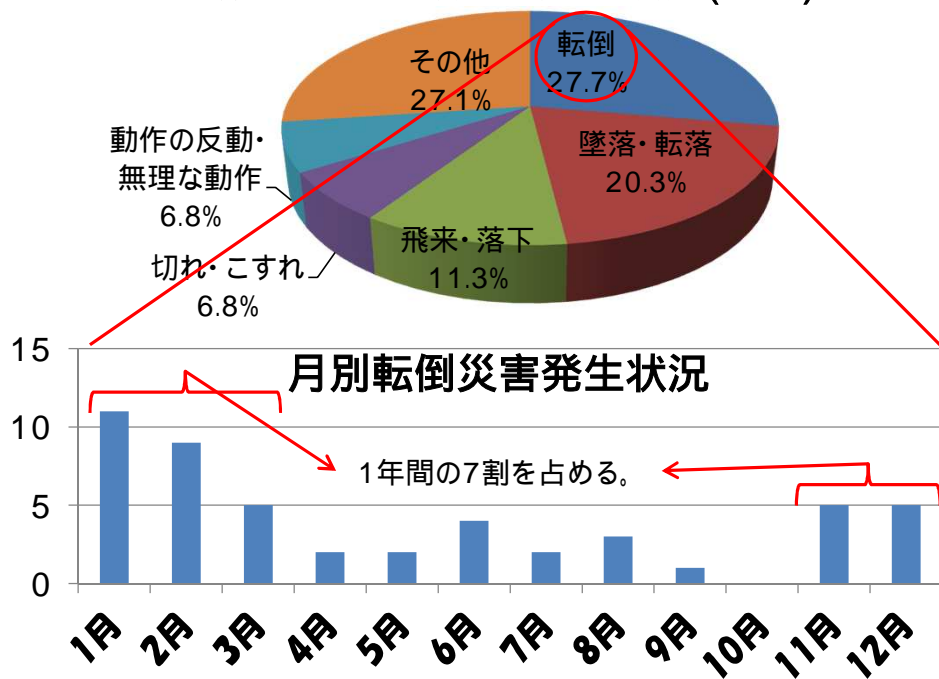
平成29年の休業4日以上労働災害発生状況は、年当初から平成28年を上回る水準で推移し続け、確定値で177件と、過去最少となった平成28年確定値に比べ、23件、14.9%の増加となり、12次防(第12次労働災害防止推進計画)における平成29年の死傷災害抑制目標値である146件に遠く及びませんでした。

また、死亡者数についても4件と、平成28年の2件に比べ倍増という残念な結果となりました。

業種別労働災害発生状況では、製造業、林業を除いて増加し、特に、建設業で10件、43.5%増と、著しい増加となりました。

事故の型別労働災害発生状況は、転倒災害が全体の27.7%と最多となっています。飛騨地域特有の冬場の厳しい気象状況等の影響による凍結等を原因とした転倒災害が、冬季(12月～2月)を中心として多く発生し、その前後の11～3月まで含めると、1年間の転倒災害の7割が発生しているという状況となっています。

事故の型別労働災害発生状況(H29)



平成30年3月末時点の労働災害発生状況について

主要産業の死傷者数

注1)カッコ内は死亡者数
注2)死傷者数は休業4日以上のもの

	H30年		H29年		H28年 (参考)	対前年比 増減数		対前年比 死傷者数 増減率
	(死亡者数)	死傷者数	(死亡者数)	死傷者数	死傷者数	増減数	増減率	
全産業	43	(2)	51	(2)	27	-8	-15.7%	
製造業	13		8		10	5	62.5%	
建設業	6		7		3	-1	-14.3%	
運送業	3		5		2	-2	-40.0%	
林業	6		4	(1)	0	2	50.0%	
その他	15	(2)	27	(1)	15	-2	(1)	-44.4%

製造業、林業で増加傾向にあります。要注意！